

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 20-163

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・ 研究課題名： 当院救命救急センターICUにおける

人工呼吸患者に対する身体抑制低減の取り組み

・ 目的： 2019年度、人工呼吸患者の身体抑制を低減するために、人工呼吸患者の身体抑制フリー率（身体抑制がフリーであった日数／人工呼吸期間 自称データ）を部署のクオリティインディケータの掲げ、①気管挿管の計画外抜去や再挿管率のデータ公表、②気管挿管の計画外抜去が発生した場合の責任共有の新しいスタイル（自称：結果オーライ運動）、③やむを得ない身体抑制とアセスメントした際の具体的な言語化の3つの取り組みを実施した。そこで今回、当ICUに入室した人工呼吸患者に対する身体抑制の状況が本取り組みにより低減したか否かを検討することを目的として研究を行う。

・ 研究期間： 臨床研究IRB承認日 ～ 2021年 12月 31日

・ 研究対象： 2018年 4月 1日～ 2020年 3月 31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

： (1) 患者背景

原疾患、年齢、性別、重症度（Apache IIスコア（Acute Physiology and Chronic Health Evaluation）、SOFAスコア（Sequential Organ Failure Assessment））、認知症（知的・認知機能障害）の有無、神経学的予後（CPCスコア（Cerebral Performance Category））、カテコラミン使用の有無、専門職（理学療法士、作業療法士）によるリハビリテーションの介入日、初回離床日、身体抑制（ミトン、上肢・下肢・体幹抑制などのいずれか）の有無、人工呼吸期間、ICU滞在日数、在院日数、転帰。

(2) 身体抑制開始時の状況

入室日からの日数、せん妄の有無（confusion assessment method for the ICU：CAM-ICU、Intensive Care Delirium Screening Checklist：ICDSC）、鎮静の有無、疼痛の有無と程度（Numerical Rating Scale：NRS、behavioral pain scale：BPS）、鎮静スコア（Richmond Agitation- Sedation Scale）、身体抑制の方法、持続鎮痛の有無

(3) 身体抑制フリー率

身体抑制フリー率（身体抑制をフリーにしていた日数／人工呼吸器使用期間）

③ 利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター 新山 和也

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 新山 和也